

夢じゃーなる

Vol.

5

第2期阪神北地域ビジョン委員会だより

平成16年（2004年）11月

発行／阪神北地域ビジョン委員会

編集／阪神北地域ビジョン委員会広報部会

<http://web.pref.hyogo.jp/hanshinkita/vision/v-index.html>



三田市

三田農業まつりでの牛のセリ市

猪名川町

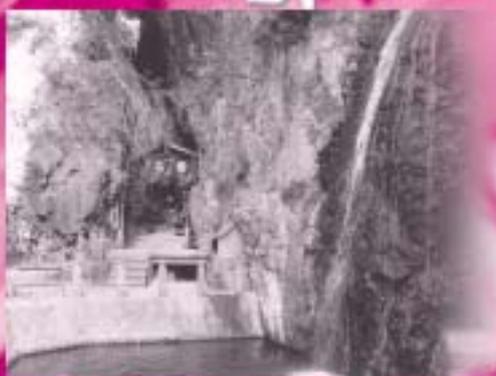
阿古谷の木喰地蔵



宝塚市

最明寺滝

不動明王の前に流れ落ちる最明寺滝



川西市

サイダーは川西市の誇る名水から生まれた

伊丹市

昆陽池

野鳥の宝庫 昆陽池



目次

- ・「おすすめ散策ルート」Ⅱ …… 2
- ・トップと語る（三田市長） …… 3
- ・わがまち三田 …… 3
- ・阪神北地域夢会議 …… 4
- ・各分野の活動の紹介 …… 5～6
- ・地域でこんな活動をしています …… 7
- ・お知らせ など …… 8

題字：早野 邑水

第四分野 「おすすめ散策ルート」 Ⅱ

地域経済の活性化には、農村と都市の人の交流、自然と文化に親しむ人々の賑わいが大切です。私たちは各地の見どころをご紹介します。前号の猪名川に続き、今回は川西、宝塚地域を紹介します。

一、川西編

「三ツ矢記念館」(表紙参照)

明治時代平野地区で再発見された鉱泉が炭酸水の源泉です。「三ツ矢サイダー」はここで昭和二十九年まで生産されました。能勢電鉄平野駅北へ徒歩五分の所に、「三ツ矢」のマーク入り建物「三ツ矢記念館」が木立に囲まれています。現在工場跡はサンシャイン店として活用されています。

「心癒す川西市郷土館」

山下駅近く
の住宅地内に
旧平安邸、
旧平賀邸、
ミューゼ・
レスポワー
ルの三館が
あります。
銅の精練を
業としてい
た旧平安邸
は、この地



▲川西市郷土館 入口

方の伝統的民家の特徴をもつ大正時代の数寄屋風造りで、立派な柱や梁、襖絵などがあり、館長自らの説明がありました。一方、旧平賀邸はイギリスの田園住宅形式の洋館です。小石の洗い出しの外壁、出窓と煙突もあり、ステンドグラスの窓とともに端正で洗練されたセンスで統一されています。

コスモスの咲き乱れる中、鉄筋コンクリートの渦巻き状の円形建築が、ミューゼ・レスポワールです。川西市ゆかりの青木大乗(日本画)、平通武男(洋画)両画伯の遺作を常設しています。

(地域経済の活性化グループ
野間元夫佐子)

二、最明寺川流域編

阪急山本駅から山手方向に約二時間半の手軽なコースです。

「木接太夫彰徳碑」

接木技術を実用化した坂上善太夫に秀吉が贈った「木接太夫」の称号を記念して建立した碑。

「願勝寺」

親鸞、蓮如が泊った由緒ある寺。建物正面には「見真」(親鸞のおくりな)の額が掛けられています。再建されてから三百年の

阿弥陀堂を住職は守り続けています。

「大宝寺」

宝塚市指定文化財で南北朝時代の「不動明王」が祭られています。水野住職は慈愛の願いを込めてNPO「インドマイトリ(友愛)の会」理事長を務め、現地の教育施設充実に努力中で、寄付やボランティアを募集しています。

「最明寺川遊歩道」

自然林と溪流に沿った癒しの散策道。



▲最明寺川遊歩道

「宝教寺」

種子神仏を祭っています。

「七星堂」

一三五段の頂上に祠があり、甲山方面の風景は抜群です。

「大聖不動尊の石門」

江戸中期元禄時代に建てられたが、建立者は不明。

「最明寺瀧」

(表紙参照)

元ひばりの滝と称し、地名雲雀が丘の由来になっています。鎌倉時代の執権北条時頼が出家して最明寺入道となり、この地で修行した所です。



「大聖不動明王の祠」

不動明王は大日如来の使者といわれ、大きな石仏と祈祷の場が設けられています。

「満願寺」

神亀年間(七二四〜二八)奈良時代に建立。

ご本尊は「秘仏千手観音像」。信者全ての願いは、必ず聞き届けていただけるという満願の仏。多田源氏の祖満仲が帰依し、源氏一門の守護仏になっています。「仁王像」は鎌倉時代の作、運慶作と云われています。多田院から明治時代に移設されました。

次号は三田、伊丹地域です。
(同グループ 大庭 弘之)

トップと語る

三田市 岡田 義弘 市長



トップと語るも第四回を迎えました。九月二十九日、長田武彦ビジョン委員会オプザバー(市長公室都市経営推進課長)に伴われて岡田市長をお訪ねしました。上田志津香広報部会長のあいさつに続き広報部会員と阪神北県民局地域ビジョン担当杉浦聡課長の自己紹介の後、野間貞子部会員(三田在住)の司会で質問に入りました。

◆市民の参画と協働についての取り組みは

(大庭弘之)

市民主体のまちづくりを推進するため、計画段階から市民の参画と協働により展開している。市民との対話、「わたしの提案箱」などにより市民の意見を聞き、市民、行政、事業者との役割分担を進めるなど、市民との協働を図り、生涯学習、環境に重点をおいた活気と活力のある安全・安心のまちづくりに企業概念のコスト意識を取り入れて推進している。

◆特に力を入れておられる施策

(野間元夫佐子)

人口増加に伴い、十萬都市として地域格差が生じないように、今まで学校、図書館、市民病院などの整備を行ってきた。今後、総合文化センターの建設、分散した市役所の建替えなどまだまだ整備を進めていく必要がある。

◆市域を越えた施策

(田中美晴)

災害時の対応と復興のため、周辺各都市と相互協定を結んでいる。阪神七市一町で図書相互貸出し。神

◆駅前再開発構想について

(岸本英紀)

市街地の活性化と安全・利便性を高め、公共施設や道路・駅前広場の整備などの再開発を進めている。既に、地下駐輪場、駅前ロータリーの供用を開始し、今年、商業棟の建設に着手している。

◆旧住民・新住民間の課題・その対策

(中村良子)

まちづくりの原点は旧住民、新住民に二分されないよう、農業の振興(地産地消)、商業の活性化、工業の振興、観光など心のふれあう田園文化都市をめざしている。市民運動会、三田まつり、マスターズマラソンを開催し、市民の積極的な参加を呼びかけている。

◆里山に関するお考えは

(早川安夫)

上流に住む住民が水を守らなければと、里山(ナナマツの森、観福の森)の保全に力を入れている。緑の大切さ・里山保全の重要性を都市部

へ働きかけて共に考えていきたい。来年十月には、有馬富士公園で、皇太子殿下・妃殿下をお迎えし、全国育樹祭が行われる。

◆三田市はゴミの分別が進んでいると聞いているが、その方策は

(田中 實)

生ゴミ処理器の購入に補助金を出し、家庭で堆肥化を推進し、ゴミのリサイクルをしている。また、資源ゴミの回収に対する支援を行い、その一部が自治会などの運営に活用されている。



▲岡田市長との懇談風景

◆若者に対する施策は

(榮 泰隆)

若者に、住み続けてもらえる街にしたい。多世代交流館やその他の場を通じて子育て支援、若者のたまり場づくり、祭りの企画への参画などを呼びかける。

お話の中で市長の市行政に対する取り組みの力強さを感じた。

最後に、高濱弘子広報部会員から自然の保全と力強い市の発展を願ってお礼の挨拶がありました。

(広報部会 野間貞子)

わがまち三田

旧九鬼邸の紹介

三田は歴史が古く、奈良時代には金心寺の門前町として、江戸時代には九鬼三万六千石の城下町として栄えました。

今、旧九鬼邸が住宅資料館として一般公開されています。

明治初期に流行した擬洋風建築で、和洋の技術を取り入れた風格のある建物です。明治時代の傑作といわれています。

近くにある有馬高等学校にはお堀があり、古城跡の面影を残しています。隣接する三田小学校は寛永十年に鳥羽から移封された九鬼家の陣屋があった所で、新校舎建築の際かまど跡が見つかり、今は校長室の床下に保存されています。周辺には屋敷町の名残が民家の塀や門からうかがい知ることができます。

(広報部会 野間 貞子)



▲旧九鬼邸

11月3日(祝)
ひとはく

阪神北地域 夢会議

知的世界を楽しもう「科学するよろこびを知って」
成熟社会の課題を乗り越えていくために

阪神北地域夢会議が「科学するよろこび」をテーマに、県立人と自然の博物館で開催されました。

井戸県知事をはじめ、県議会議員、三田市の代表や職員の方々、ビジョン委員など一五〇余人の出席がありました。

開かれた博物館 館長が科学の心を講演

基調講演は、ひとはくの館長岩槻邦男さんが「科学する喜び、生涯学習とは」について、わかりやすく説明されました。とくに、科学の始まりは驚きから、分析から総合への重点の傾斜を強調、また館外に出てのキャラバンフィールドをと、博物館の変貌を紹介されました。

パネラーの活動報告が 興味津々でした

パネルディスカッションのコーディネーターは、中瀬勲さん(阪神北地域ビジョン委員会委員長、ひとはく副館長、兵庫県立大学教授)。トップのパネラー細見幸己さんは、ビジョン委員で阪神北地域教育推進会議会長も務め、家庭の教育力向上、開かれた学校を目標に、学校と家庭と地域の一体化を目

指すとのことでした。同じくビジョン委員で三田市いずみ会会長でもある中川勝子さんは、主婦の立場から、子どもたちに科学への興味を起こすために、例えば、ケーキづくり、カマキリの羽化の観察など、いろいろな手をさしのべられています。NPO人と自然の会の佐竹千代子さんは、グループの人たちが、それぞれ企画から実施まで積極的に活躍され、例えば、赤とんぼコンサートなどのイベントが行われて、子どもたちの眼がキラキラ光っていたと、感動的に報告されました。宮原一明さんは、ミツカンの課長さんです。吉川の丘陵地に新工場を建設する際、酢の生産で困る虫対策のことで、ひとはくの指導もあり、広い自然地の生態バランスを整備しようと、ビオトープをつくりました。地域の子どもたちや住人に開放・交流が行われています。「企業市民」の自覚が必要と頑張っておられます。梶谷均さんは、県立三田祥雲館

高校(全日制単位制)の校長です。平成十四年の開校で、「学ぶ意欲を育む」を教育理念とし、「探究的問題解決学習」に重点をおかれました。

パネルディスカッションが終わり、注目されたことがあります。孫に科学の心を育てようと、田んぼや池で虫捕りをして、孫の質問には正しく答えられないのですが、この女性の発言に、館長さんは「そうしたお考えが大切で、面白いなあ、オドロキがあるなど、体験が大切なんです。それでいいんですよ。」と強調されました。

中瀬コーディネーターは、夢会議が、こんなにアカデミックな会になったのは初めてとしくくられました。



▲夢会議全景

知事

やんわり、チクリと総括!

いよいよ知事の登場。先日、南仏の田舎、昆虫記のファーブルの生地にある昆虫館を訪ねられました。大変感動。ところが、台風の知らせで、すぐに切り上げ急遽、帰国されました。

つぎは、パネラー報告の総括です。まずは細見さん、「学校の開放、地域の協力が動き出し、後押しされてきたことに感謝しています」。つぎに宮原さん、「新工場建設に際し、ビオトープづくりのソフトで、地域の住民とのふれあいを築かれた。実は深謀遠慮、ミツカンのファンづくりにも貢献されたのです」。梶谷さんには、「あの高校は、地域が学校を見、学校が地域に開く、お手本になっているんです」。中川さんには「料理は、材料、調理、評価と、一連のシナリオありで、科学なんです。スーパーに行き、あなたためればよいではダメです」。「佐竹さんのNPOグループの方々の、挑戦が喜び」は、とてもいいことです」と高い評価でした。

最後に知事は「知的興奮につつまれたこの夢会議は、実は初めてですが、それもあくまで行動のための源泉と考えるべきで、皆が抱えているもろもろの課題について活動をおこすことが重要です」これをもって閉会。「科学するよろこび」がわかりかけたような熱い思いで、皆、会場をあとにしました。

(広報部会副会長 早川 安夫)

第一分野

つじが丘冒険広場開催

十月十六日、秋晴れの下、猪名川町つじが丘主催の冒険広場が同自治会内の中学校予定地で開催。これは、九日に夢会議とともに開催予定だったのが台風で延期されたもので、昨年よりビジョン委員会ライフスタイルグループと同自治会とのコラボレーションで



▲足湯で語らう子どもたち

始まったのも朝八時に地元自治会とビジョン委員が準備を開始。九時には続々と家族連れが集まり、夕方までの楽しい冒険広場(ブレイパーク)がスタートしました。

内容は、子どもたちお気に入りの木工工作、猪名川町消防本部による第二回子ども向け救急講習。好評のドラマ岳風呂に新たに足湯が新設され、子どもたち手作りの豚汁とバーベキューで昼食をとりました。

さらに、夕暮れから震災復興事業の一環としてのローソクづくりをしたり、有志が持ち寄ったイモなどの食材をたき火で焼いて盛り上げました。

(ライフスタイルグループ副代表

小川 紀之)

第一分野

世代間交流のあり方を考えるフォーラムを開催して

十月三日、県立人と自然の博物館で人口減少社会、高齢社会をどうとらえたいのかを、若い人たちと意見交換するなかで、世代間の交流が芽生えることを願ってフォーラムを開催しました。

基調講演は「人口減少社会を考える」と題して、県民政策部ビジョン担当畑正夫課長より「なぜ、世代間交流が必要なのか」という提言をいただきました。今回は三つのテーマ(①男性の社会復帰②子育て支援③家族のあり方を考える)を設定。参加者はテーマごとに分かれてグループディスカッションを行いました。中高年男性の地域での活躍ぶり、子育て支援する側の悩み等貴重な意見が交わされました。なかでも若い世代(女子大生)の参加への

思いが素直に述べられ、多世代との交流を持ちたい感じがひしひしと感じられました。問題意識を共有できるよう、お互いの価値観を認め合いながら、今後多世代との交流を深めて行く必要性を実感。藤本専門委員からも助言をいただきました。



▲一生懸命耳を傾ける

(世代間交流を考える会

北山 孝子)

第一分野

「歯のかみあわせと心身の健康」講演会と懇談会



▲スティックをかんで

八月十九日、日本テンプレート協会理事長・歯学博士前原潔先生を講師に迎え、「歯のかみあわせがおよぼす心身の健康」と題して講演がありました。

前原先生は、アメリカでテンプレート理論を考案されたグゼイ先生の指導を受け、テンプレート療法が普及に情熱を注がれています。テンプレート療法とは、歯科から全身の病気やさまざまな訴えを改善しようとするものです。最初に、出席者全員にスティック(角材1.2cm角、長さ3.5cm)を配布され、奥歯にかみ合わせた時各人の姿勢を見て、今までの病気や怪我に現在も少なからず悩んでいることを見抜かれました。

登校拒否の例では、六例のうち、一週間後に一人、二カ月後に全員が「テンプレートによる歯のかみあわせの改善」により登校できるようになったと歯のかみあわせとその重要性について話されました。

懇談会では、ビジョン委員の橋本房子さんから家庭における会話の大切さと家族のきずなについて話題提供がありました。そして、参加者各人の家庭での体験や歯の治療の重要性について話題が絶えることなく時間が経過しました。

(ドリーミー・ユースグループ

岸本 英紀)

第一分野

一回目迎えた「元気で長生きできる料理教室」

私たちのグループでは、九月二十四日三田総合福祉保健センターで第二回料理教室を実施しました。旬の食材と野菜一日三百五十グラム摂取を目標に、地産の野菜を沢山取り入れてレシピを作成しました。

- ・ごはん
- ・サバのマドラスソース煮
- ・なすびのごま煮
- ・れんこん汁
- ・キウイかん



▲料理教室での一コマ

青樹代表のあいさつの後、三十人で料理開始。参加した男性の中には、玉ねぎをうまく切れない人、フライパンで魚を焼くのは初めての人、女性に野菜の切り方などを教えてもらい喜んでくださった人など…。

また「なすびのごま煮を作ってみた」「れんこん汁がおいしかった」「さばのマドラスソース煮は色どりがきれい」「カルシウムたっぷりだ为荣養的にもいい」等、いろいろな感想を聞かせてもらいました。次回の宝塚での料理教室に活かしたいと思っています。

ビジョン委員はじめ参加して下さった皆様と和やかに、楽しい食事をいただきました。

(健康で安心して暮らせる

コミュニティづくりグループ

野間 貞子)

第一分野

ふれあい健康ウォークラリー



▲川のほとりの遊歩道に行く

十月二十
四日、「天
高く〇〇肥
ゆる秋」と
いうことば
がびったり
くるような
すがすがし
い青空のも
と、「ふれあ
い健康ウォー

クラリー」を開催しました。

昨年と同じく、新三田駅前から有馬富士公園までの約二キロを途中の通過点でチェックを受けながら歩いていただきました。コースは、有馬川のせせらぎや草木に触れながら、ゆっくり歩いて小一時間程度の気持ちのよい道のりです。

親子連れ、お友達同士、サークル仲間などさまざまなグループで、計二百六十人ほどのみなさんがご参加くださいました。

到着地点の有馬富士公園では、前日から催されている『ありまふじフェスティバル』で大変な賑わいでした。無事歩き終えた子どもたちは景品を手にして大喜び。

額に汗をにじませながら元気にはしゃぐ子どもたちの姿や、それを囲むご家族の楽しそうな姿がとても印象的でした。

秋の日の一日、誰もががきつと良い思い出作りができたことでしょう。

(コミュニティ第二グループ

中村良子)

お知らせ

第三分野

12月4日(土)

13:30~16:00
いたみホール(中ホール)
参加無料

こどもと地域の 環境会議

～ほっとあるね！を楽しもう～

子どもたちが環境学習を通して、地域の大人と協力しながら、身近な日常の中で自然や懐かしいものとの関わりを持つ「ほっと過ぎしの環境(場)」を身近な地域の中に再創造していくことを目指して、こどもと地域の環境会議を開催します。「ほっと過ぎしの環境」とは？創り出すにはどうするか？共に考えてみませんか。

第1部 環境学習の取り組み発表と意見交換

伊丹市立有岡小学校…学校ビオトープ「有っ子池の観察」
宝塚市立末広小学校…武庫川の生き物(水生生物・サギ・カモ)調べ
川西市立緑台小学校…琵琶湖博物館見学・環境にやさしい調理実習

コメンテーター：中川芳江さん

(兵庫県環境審議会委員 (株)ネイチャースケープ役員)

第2部 朗読劇「海を返して」 伊丹市立池尻小学校4年生のみなさん

第3部 地域において、子どもたちと係わりを持ちながら活動をおこなっている団体からの報告と意見交換

宝塚子どもナチュラリストクラブ…自然に恵まれた西谷地区の啓発活動
川西自然教室…「くわがた(虫)ランド」の楽しい交流



伊丹環境ネットワーク…ジャンボエコカルタづくり

あーすいたみ…ピーナツ栽培の体験 “土って面白い”

コメンテーター：兵庫県立大学教授 中瀬勲さん(人と自然の博物館副館長)

※会場には環境活動団体による活動状況なども展示しております。

主催/阪神北地域ビジョン委員会、阪神北県民局

新さわやかな環境づくり阪神北地域行動計画推進会議

共催/伊丹市、伊丹市教育委員会

後援/阪神北教育事務所、宝塚市・川西市・三田市・猪名川町各教育委員会、

こころ豊かな美しい阪神北推進会議、阪神北青少年本部

協賛/(財)ひょうご環境創造協会、生活協同組合コープこうべ、

近畿コカ・コーラボトリング(株)、武庫川流域環境保全協議会、

兵庫県大気環境保全連絡協議会阪神北支部、兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会

問合せ先：兵庫県阪神北県民局県民生活部環境課

TEL 0797-83-3146

地域でこんな活動をしています

下校サポートと 百人パトロール

十月十五日、秋晴れの昼下がり、牧の台小学校に川西市大和自治会、PTA、防犯協会、子ども会に川西警察も加えて約百人が集合しました。

これは、全国安全週間の一環として、「みんなで作ろう安心の街」のキャッチフレーズのもと、児童四一〇人を各班に分けて、無事、自宅まで送り届けました。



川西警察から、白バイやこっへい君のぬいぐるみに参加し、各団体もオリジナルの装いで幟を掲げての参加。児童たちは、一瞬「何事」と目を見張りました。我々としては、次世代を担う児童たちに「安心と安全」を少しでも確保したいと思います。また、幟を持って百人が行進すると、そのままPRにもなり、「大和は、安全に力を入れていく手強い地域だ」と評判になることでしょう。これが犯罪減少に役立つと考えます。

第一分野 助台三千雄
(大和自治会安全部長)

今求められているのは地縁！ 高齢者主張大会

高齢者主張大会がコープ宝塚サポートセンターでありました。大会は十四回目を迎え「私の心の歌」の発表があり、お茶をいただきながら、懐かしい唱歌や童謡を歌い、楽しいひとときを和やかに過ごしました。

つねづね思うのは三つの縁（地縁・知縁・血縁）で、今一番求められているのは地縁ではないでしょうか。地域に根ざした活動のコープ委員としての参加によって、「一人は万人のため、万人は一人のため」というスローガンを二年目になってやっと理解するようになりました。



平和の集いを開催し、参加した小学六年生が戦争の時の体験を聞いて来た話や、紙芝居「可哀想な象」。手作りのお手玉やあやとりでの楽しい遊び、豆腐団子作りなど盛り沢山のプログラムの子どもたちとともに世代間の交流をしました。核家族化された環境の中で、いかに積極的に関わるかを奮闘中です。

第二分野 松葉牧子
(コープ委員)

初めての 早朝健康体操会

大和団地初めての早朝健康体操会を、八月二十二日午前七時から団地中央の平木谷公園グラウンドで開催。

この会は老友クラブが提案したもので、自治会、コミュニティ推進協議会、子ども会も賛同し、各団体の役員が協働で活躍しました。

当日、天が味方して空は明るくなりました。白い体操着でグラウンドに集合した地区の老若男女は三四〇人を超えました。



ラジオ体操で準備運動をした後、田原先生の指導で竹棒を使い音楽に合わせて楽しく行いました。次に約十人の輪をつくり、ボールを使った体操を行いました。笑い声と歓声が空に上がり、全員に赤みがさしてきました。終了したときは全員がパワーアップし、三々五々楽しく話し合いながら家に帰りました。確実に親睦の輪は広がったように思います。

第二分野 井上 及
(川西市大和老友クラブ)

三田の農業生産について 地産地消を目指す

私は、農業での地域の経済活性化に取り組んでいます。

この三田盆地は、武庫川を中心に肥沃な土地が広がり、すばらしく良質の水に恵まれ、夜と昼の温度差が大きく、これがすべての農作物の生育を良好にし、家畜の飼育にも適しています。

私もこの土地で農業生産の原点は、この土地で生産された生産物を、その土地の人々が食することを基本コンセプトにしています。

多くの都会の人々に訪れていただき、生産者の顔の見える安全で安心な地元農産物に出会ってもらいたい。将来は、食糧の自給率を高めるための相互理解が大切です。生産地と都市部が食と農を通じ共に支え合い、豊かで心の通じる農産物直売場「農協市場館パスカルさんだ」一号店・二号店には、朝採り新鮮野菜を揃え、ふれあいの場所を用意しています。



第四分野 而浦道雄
(三田市農業委員会会長)

お知らせ

「散策ルート」を
ご一緒に訪ねませんか？

12月2日(木) 雨天決行
12:30 阪急伊丹駅改札口 集合

荒牧バラ公園
昆陽寺
昆陽池
昆虫館 他

(実費負担)

申込み期限：11月25日(木)

参加申込み先
阪神北県民局地域振興部
TEL 0797-83-3156



第3回

「元気で長生きできる料理教室」

11月29日(月)
10:00~13:00

場所 宝塚市立中央公民館

(阪急逆瀬川下車東へ5分)



定員：25名 / 会費：500円

参加申込み先
第2分野 健康で安心して暮らせる
コミュニティづくりグループ
河本 TEL 0797-77-5450

甲子園大学でこれからの地域づくりを考える

宝塚市の山の中腹にある「甲子園大学」。この学園祭に11月2日、私たちグループのメンバーと県民局地域ビジョン担当がお邪魔しました。校舎の一室を借り、ビジョン活動などを紹介するとともに、若さあふれる大学生など約50人に、成熟社会の地域づくりについて意見を聴くことができました。その若い感性・視点を今後のビジョン活動の取り組みに反映させていきたいと思えます。

(第1分野 世代間交流を考える会

田中美晴)

「災害お見舞い申しあげます」

新潟中越地震並びに台風23号の被害に遭われた方々に衷心よりお見舞い申しあげます。新潟中越地震は阪神・淡路大震災に匹敵する震度七を記録し、家屋の全・半壊は八千戸を越え、十万人近くも避難されています。一方、台風でも、川の堤防が決壊して市街地の大半が浸水した県下の豊岡市や淡路島をはじめ、阪神北県民局管内など各地で大きな被害が発生しています。

地震や台風は天災とはいえ、土砂くずれ、堤防の決壊などのニュースを聞くとも何を聞いても国土の安全対策の大切さを痛感しております。

一日も早い被災地の復旧と被害に遭われた方々が立ち直られますようお祈りいたします。

(広報部会)

十月二十四日に開催した「ふれあい健康ウォークラリー」(関連記事P6一段目)受付において、兵庫県台風災害義援金の募集を呼びかけたところ、四、七、一四円集まりました。ご協力ありがとうございました。

(第二分野 コミュニティ第二グループ代表 伊藤 順一)

夢会議中止のお詫び

台風22号により十月九日に猪名川町で予定していた「夢会議」は中止になりました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

なお、同時開催する予定にしていた、猪名川町つつじが丘自治会と第一分野ライフスタイルグループ共催の「冒険広場」(プレーパーク)は、十月十六日に延期して実施しました。(関連記事P5一段目)

今後の夢会議(予定)

一月十六日(日) 伊丹市昆陽池
二月十三日(日) 川西市中央公民館
三月六日(日) 宝塚市立東公民館

編集後記

第二期ビジョン委員会の「夢じゃーなる」は次号で完結する。ビジョン委員は三月いっぱい任期だが、「三月の活動記事を入れるとなれば、作業は四月にずれこむよ。どうします」と広報部会の面々に聞いてみた。「当然よ。仕方がないやん」との即答が返ってきた。

さすが広報部会。記事集め、編集、三回の校正と何度も何度も阪神北県民局に通ってきてくれた部会委員たち。一回の編集会議や校正会議の読み合わせなどは、四時間もかかってしまう。それも、笑いの連続なので、あつという間に感じられる。

それぞれ、個性と主張があつて、一面の写真はまるで、セリ市のようにして決まる。そして、美しい譲り合いもある。皆さん、本当に素晴らしい仲間がよい。切磋琢磨をしているが、仲間がよい。

ビジョン担当前任の西谷課長や今の杉浦課長とも、何度もお会いする機会があつて、本当に親しくさせていたのだ。

一生の友達が増えるようである。「広報部会ってしんどいだけではないですよ」。来期のビジョン委員さんにそう申し伝えたい。

(広報部会長 上田志津香)

お問い合わせ先

阪神北県民局地域ビジョン担当
宝塚市旭町二丁目四番十五号
電話 〇七九七七八三三二一九